



甲斐市立竜王中学校
学校だより No12
令和5年11月8日



合唱発表会に向けて!



4年ぶりの開催となる合唱発表会。11月17日(金)の本番において、10月26日より取組が始まりました。放課後になると、教室や練習場所から歌声が響き渡り、校長室にも爽やかな声が聞こえてきます。コロナ感染症のため4年間合唱が止まっていたこともあり、歌声が校舎に響く日常が戻ったことをうれしく思います。今の生徒たちは、合唱に取り組む先輩達の姿を見ておらず、合唱発表会がどのように行われるのか不安であると思います。音楽科の西先生も、練習計画から本番の運営まで大変ご苦労されています。会場は白根桃源文化ホールから学校の体育館に変更しての実施となります。ご指導いただいた講師の小尾先生をはじめ、携わっていただいた多くみなさまに感謝と感動を届けられるよう、残り1週間頑張ります。



県新人大会を通して

県新人大会が10月下旬から11月上旬にかけて開催されています。中巨摩大会を県大会予選とする競技もありますが、多くの部がオープン参加となり各会場で熱戦が繰り広げられています。そんな中、バレー部が県大会「優勝」を果たしました。中巨摩新人大会では準優勝でしたが、決勝で敗れた玉穂中を準決勝で破り、見事栄冠を勝ち取りました。おめでとうございます。



さて、今大会ではいくつかの会場をまわらせてもらいましたが、そこで印象に残ったことを紹介したいと思います。それはサッカー部の応援で河口湖くぬぎ平サッカー場にいった時のことです。実は私もかれこれ45年前ですが、竜王中サッカー部に所属しており、教員になってからはずっとサッカー部の顧問をしてきたこともあり、サッカー部には特別な思いがありました。

10月28日(土)、1回戦を勝ち上がったとの知らせを聞き、卓球部の応援後河口湖くぬぎ平サッカー場に向かいました。顧問の清水先生からは、「けが人が多く出て、満身創痍の状態です」との話がありました。顧問からは、厳しい状況ではあるが、2回戦を突破することの意義や重要性について生徒に話があり、選手達を一生懸命鼓舞してピッチに送り出しました。選手達もそれに応えようと気持ちを盛り上げ試合に臨みました。

開始早々1点を奪われる苦しい展開となり、思うように行かない試合内容に感情的になる選手もいました。痛めた足をかばいながらも一生懸命走る選手、骨折している手の痛みをこらえて守備に攻撃に頑張る選手の姿がありました。何とか良い形で1点を返したものの終わってみれば1-6の大敗でした。試合後、私のところに集まってくれ、キャプテンの水上晃君が代表してあいさつしました。「今日は、こんな遠いところまでわざわざ応援に来てくれたのに、勝てなくてすいませんでした。」と涙をこらえながら話す姿をみて、私も胸が熱くなりました。いつも見かけると大きな声であいさつを交わしてくれる元気なサッカー部のみんなもこの時はしんみりとしていました。サッカー一つとっても思うように行かないことがたくさんありますが、そうした経験をたくさん乗り越えてたくましくなって欲しいと願うばかりです。この悔しい思いを是非次に繋げて欲しいと思いました。

サッカー観戦は私の趣味でもあるのですが、こんなに胸の熱くなるサッカー観戦もいいものだなと帰りの車を運転しながら振り返っていました。

どの競技においても、そこに行き着くまでに様々な困難や苦労があります。本番の試合でも思いがけない状況が待ち受けていることもあります。そこを乗り越えていけるのは日々の練習であったり鍛錬であったりします。この新人大会を通して多くを学びたくましく成長した竜中生の今後の活躍に期待します。

頑張れ竜中生!!



小中連携あいさつ運動

11月7日(火)、この日はあいにくの雨になってしまいましたが、竜王中学区の小学校3校と連携し、あいさつ運動が行われました。年に1回の取組ですが、中学校の生徒会や学年生徒会のメンバーがそれぞれ出身小学校に集まり、小学校の児童会メンバーと共に、登校してくる児童のみんなに元気よくあいさつを交わしました。

あいさつ活動と一緒に進む他にも、中学生から部活や学校生活について、児童会のメンバーに色々な話をしており、交流が深まりました。小学生にとって中学校は怖いイメージがあるようですが、こうした活動を通して中学校への理解が深まることを期待したいです。3学期には出前授業を行う予定です。そこで中学校の様子を6年生に伝えていきたいです。

生徒会・児童会の皆さん、早朝よりご協力ありがとうございました。



写真は、左から竜王東小 竜王南小 竜王小学校の様子です